「*筋炎関連疾患における病態解明並びに自己寛容の維持機構や炎症収束・修復再生機構の解明*」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

2020 年 04 月 01 日から 2022 年 12 月 31 日の期間に【埼玉医科大学総合医療センター】を受診し、多発性筋炎・皮膚筋炎・混合性結合組織病・血管炎症候群と診断され、病理組織学的検査および血液検査を実施した患者さんを対象としております。

２．研究の目的

採取された血液および筋組織から、筋炎関連疾患の免疫細胞や非免疫細胞群の遺伝子異常、発現蛋白や核内転写因子に関する特徴の同定を試み、自己免疫疾患や虚血に陥った組織での免疫状態を適切に維持する機構や組織での炎症の収束と修復・再生する機構を解明し、最終的にはヒトへの治療応用（副作用なく治療する方法や効率的なリハビリテーションの方法など）を目指すことを目的としています。

３．研究期間

病院長の許可後～2028 年 03 月 31 日

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

多発性筋炎・皮膚筋炎・混合性結合組織病・血管炎症候群と診断された患者さんの病理組織学的検査および血液検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である酒井亮太が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

２．試料・情報の取得方法

多発性筋炎・皮膚筋炎・混合性結合組織病・血管炎症候群と診断された患者さんの病理組織学的検査および血液検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学総合医療センター　リウマチ・膠原病内科（研究代表者　酒井亮太）

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。
利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。
ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター　リウマチ・膠原病内科　酒井亮太
住所：〒350-8550　埼玉県川越市鴨田 1981
電話：049-228-3574（土日祝日を除く 8：30～17：30）
メールアドレス：r_sakai@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：筋炎関連疾患における病態解明並びに自己寛容の維持機構や炎症収束・修復再生機構の解明
○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター　リウマチ・膠原病内科　酒井亮太